

平成30年第10回女川町教育委員会会議録

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1 | 招集月日 | 平成30年10月24日(水) |
| 2 | 招集場所 | 女川町役場3階 委員会室2 |
| 3 | 出席委員等 | 1番 横井 一彦 委員
2番 平塚 征子 委員
3番 阿部 喜英 委員
4番 新福 悦郎 委員
村上 善司 教育長 |
| 4 | 欠席委員 | なし |
| 5 | 説明のため出席したもの | 教育総務課長 今村 等
教育政策監 春日川真寛
生涯学習課長 佐藤 毅 |
| 6 | 本委員会の書記 | 教育総務課 参事 伊藤富士子 |
| 7 | 開 会 | 午前9時55分 |
| 8 | 会期の決定 | 会期は本日1日限りといたします。 |
| 9 | 前回会議録の承認 | 教育長 初めに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。すでに配布されておりますが委員の皆様方何かお気づきの点はありませんか。
無いようですので承認とさせていただきます。 |
| 10 | 会議録署名委員の指名 | 教育長 2番 平塚 征子 委員
4番 新福 悦郎 委員 よろしく願いいたします。 |
| 11 | 報告事項 | 教育長 本日は、審議事項等はございませんので、報告事項に入らせていただきます。
はじめに、私からご報告いたします。
相変わらず資料が多くて恐縮でございますが、資料の確認を行わせていただきます。「教育長報告事項」と「別添資料」、それから小・中学校合同授業研究会での「分科会資料」。同じく小・中合同授業研究会等で使わせてもらったのですが、「女川小・中学校保健指導集」。これは大変素晴らしいものが出来上がりましたので、参考までに資料として付けさせていただきました。以上4部でご報告をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。 |

「はじめに」というところで4点大きく書かせていただきました。1ページに入らせていただきます。このように新庁舎で本格的にスタートをさせていただきました。9月25日に仮入居しまして、早1カ月過ぎようとしております。委員の皆様ご存じのように、東日本大震災発生から7年半での役場新庁舎の完成でございました。本当に素晴らしい庁舎ができたなと思っております。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして、下半期に向けてということで、ここに書かせていただきました。年度当初、毎年のように校長先生、教頭先生方には、晩秋の装いが見え始めたところに小学校、中学校がどのような色になっているかを楽しみにしていますということをお話させていただいております。校長先生、教頭先生方、また先生方におかれましては、それぞれの学校教育目標や目指す児童生徒像などを踏まえて、毎日の教育活動に励んでいただいております。改めてこの場をお借りしまして感謝申し上げますところがございます。

子どもたちでございますので、なかなか思うような色を出せない分野もありますが、校長先生、教頭先生方をはじめ、先生方には、上半期、本当に頑張ってくださいました。いろいろな課題もまだあるわけでございますが、下半期も粘り強く取り組んでほしいと願っているところがございます。

2ページに入らせていただきます。

下半期に向けまして、特に私が個人的に気になっているところを教頭先生並びに担当の先生との話し合いの場をもたせていただいております。一つは、心のケアハウスとの連携。もう少しケアハウスと学校との連携を密にしてほしいという願いから話し合いの場をもたせていただきました。それから向学館との連携につきましては、お互いマンネリ化にならないように、今後も連携・協働の体制を強化していきたいという考えでお話し合いをもたせていただきました。そして大きな課題でもございます、女川中学校生徒の学力向上について。これは、文化祭が終わったばかりでございますので、これから話し合いをもたせていただきたいと思っております。

細かいことについては、「別添資料」の1～3ページに話し合いの資料等を載せておりますので、ご覧になっていただきたいと思っております。

「別添資料」1ページは、子どもの心のケアハウスと学校との連携・協働に関する資料でございます。下半期に向けてという

ことで、そこに、対象となる、特に中学校生徒の具体的な目指す姿を共有してほしいということと、これまで以上に連携・協働体制の強化をお願いしたいということをお話させていただきました。そして教頭先生、あるいは担当の先生方がどうだったかというような定期的なチェックをしっかりとしてほしいというお話をさせていただいたところでございます。

2～3ページは、女川向学館との連携・協働ということで、多数の方ではないのですが、私もいろいろな方々から直接お話を聞いたりして、それを「こんな声、あんな声」ということで、ここには記してはおりませんが、書かせていただきました。

それから下半期に向けてということで、ここにあるように、学び支援は本当に必要なのかということをもう一回見直してほしいということと、やはりこちらも、チェック、あるいは成果等のデータ化をお願いしたい。さらには、個人情報との絡みはあるのですが、これまで以上に情報交換を密にしてほしい。そして大きな課題でもございます平成33年度以降の女川向学館運営の在り方についても、そろそろ青写真を描いてほしいというようなお話をさせていただいたところでございます。

各々こういう課題解決に向けまして、後半頑張っていきたいと思っておりますので、教育委員の皆様方のご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

また2ページに戻らせていただきます。

今年の秋刀魚収穫祭、台風の影響で大変心配したところでございます。ここに実行委員長の阿部喜英委員がいらっしゃいますが、前実行委員長の高橋正典さんが、これまでいい天気ですとやってきたのだけど、今年は天気が悪かったと。これは、というような開会の挨拶で、逆にいいムードでおやりになっているのかなと思ったところでございます。本当に実行委員長は大変だったと思いますが、幸いにも大きな影響もなく、盛会のうちに終了したこと、何よりだなと思っております。いろいろなハプニング等もあったように伺っておりますが、改めて女川町の人たちの団結力をそばで肌で感じとらせていただいたところでございます。

こけら落としの前の生涯学習センターを急ぎよ使用するということで、生涯学習課長をはじめ、職員の方々も大変だったのですが、怪我の功名ではないのですが、町民の皆様には内覧会みたいになったような感じで、かえって良かったかなと思っております。

生涯学習センター大ホールは420席程あると伺っておりますが、満杯の状態、特に小学校が出る時、あるいは最後の中学校の時は盛り上がったところでございます。改めて関わった皆様方に感謝と御礼を申し上げるところでございます。

あの天気の中でございましたが、サンマなどはすぐ売り切れたというようなお話をいただきました。改めて秋刀魚収穫祭の持つインパクトを感じ取ったところでございます。

続きまして、3ページに入らせていただきます。

これは、大体的に新聞に取り上げられました、女川小「うみねこルール」についてです。委員の皆様方も新聞でお読みになったと思いますが、「別添資料」の4～5ページにA3の資料を付けております。第71回新聞大会が仙台で開催されまして、その中のフォーラムで、「ことばと脳のおいしい関係」ということで川島隆太先生がパネリストになって、女川小学校の6年生の阿部雛乃さんと奈須野先生が招かれまして意見交換を行ったところでございます。それが「別添資料」にもありますように、15日の朝刊に大きく取り上げられました。

大変これは反響がございまして、私も何人かの人からいろいろなお話を頂戴したところでございます。1210運動、「うみねこルール」と読書の関係ということで、川島先生はまさに自分の考えどおり、意を得たりということで女川小の取り組みを絶賛されていたとお聞きいたしました。何とかこれを、1210運動をやっているのですが、中学校にも広げて、町を挙げて、そして全国に発信してほしいというような称賛の言葉を頂戴したところでございます。

なお、「うみねこルール」等の取り組みについては、後で協議会でご報告させていただきますが、意識が少しマンネリ化してきたところがあったのですが、またV字回復というか、意識が高まってきたという報告をいただいております。いずれにいたしましても、これは大きな本町の課題となっておりますので、これからは小・中学校と一体となって取り組んでまいりたいと思っております。

小・中学校関係は、ここにあるとおりでございます。

まず、3ページですが、小・中学校の合同授業検討会が10月3日に、2回目は中学校で開催されました。その資料は「別添資料」の6～8ページまで。それから別添で、冒頭で申し上げました「分科会資料」、それから「小・中学校保健指導集」も載せておりますが、これらを基にいろいろな話し合いが行われたと

ころでございます。

中学校では4人の若い先生方に授業提供をしていただきまして、終わった後の話し合いは、大変有意義な話し合いをもつことができました。小学校の先生方は、小学校から行った子どもたちの様子を見ることができ、大変参考になったと話されておりました。このような合同の授業検討会を今後も継続して先生方の教科指導力の向上に努めてまいりたいと思っております。

指導主事訪問の在り方が変わってまいりまして、小・中授業検討会の持つ意義というか、役割というか、非常に大きなものがあるなど今感じ取っているところでございます。

それから第1回小中一貫校に向けてのPTA準備会が10月4日に開催されたようでございます。準備に向けて着々と話し合いが行われております。この代表に小学校の鈴木行雄PTA会長がなられたようでございます。

4ページに入らせていただきます。

小学校では、ここに記されておりますように、いろいろな活動がありました。その中で、女川商売塾に向けて7回程学習会などをやりまして、発表、そして報告会を行ったところでございます。大変すばらしい取り組みでございました。子どもたちの貴重な体験になったのではないかと思います。

今後の取り組みといたしましては、若干課長の資料と重複する部分があるかもしれませんが、今度の土曜日に学芸会、さらには部活動体験、指導主事訪問D。Dパターンというのは研究の分野の指導でございます。

以下、このような取り組みが予定されているところでございます。

続きまして、5ページに入らせていただきます。

中学校は、新人大会、そしてこの前行われました文化祭の準備でこの1カ月は大変だったようでございます。文化祭には教育委員の皆様方にも足を運んでいただきまして、本当にありがとうございました。新人大会、そして文化祭と、生徒の皆さんは本当に頑張ったところでございます。

それから生徒会役員選挙が10月11日に行われました。新生徒会長に大江悠也君、副会長には多澤泰椿君、1年生の野村拓海君がなったようでございます。頑張ってもらいたいと願っております。

以下、ここにもありますように、中学校は31日に3年生の実力テスト。いよいよ受験モードでございます。頑張ってもらいたいと

願っております。

以下、5～6ページに書かれているような行事等が予定されております。

先程お話ししましたように中学校は、学力向上が喫緊の課題といえますか、大きな課題となっております。これら期末考査、あるいは実力テストに向けた取り組みをしっかりと行っていただくよう話し合い等を行ってまいりたいと思っております。

それから、6ページの※のところ、学校法人タイケン学園に係る本市というのは、「東松島市」でございます。高校誘致ということで、「別添資料」の9ページをご覧になっていただきたいと思っております。

学校法人タイケン学園というのは、全国的にあるところで、ここにもありますように、スポーツコースという独特のコースがあつたり、グローバルコースというものがあつたりして、非常に特色ある教育活動が展開されている学校法人であると伺っております。これを東松島市が招へいしまして、旧鳴瀬一中の跡地にこの学園をつくるということでございます。マスコミに公表した資料が、9ページの資料でございます。

開学時は、平成32年4月1日を予定しているようでございます。進学コース40名、スポーツコース40名、グローバルコース40名、入学定員は120名。3学年ですから360名という学校規模のようでございます。

今、生徒数が激減している中で、全寮制ということで、どれだけ集まるかということ等、いろいろお話を頂戴したところでございますが、工藤教育長さんのお話をそのままお話させていただければ、生徒数がどれだけ集まるか、それが大きなポイントだということはお話されておりました。ただ、全寮制ということで、スポーツ等でもし特色が出せればというようなことで、その辺を期待しているというお話も頂戴したところでございます。

いずれにいたしましても、仮称ですが「日本ウェルネス宮城高等学校」となるようで、平成32年4月1日オープンということになっております。その資料でございます。

また6ページに戻らせていただきます。

10月5日に教育長会議がございました。中里所長先生からはここにあるような指示があつたところでございます。その中で、教採二次、いよいよ今週の26日に発表でございます。本町で受験した講師の先生が何とか全員合格できるよう願っているところ

ろでございます。

なお、所長先生の話の中で、教育復興加配教員の配置について、前回の教育委員会で再来年度からとお話をさせていただきましたが、情報によりますと教育復興加配教員配置は来年度から県全体で4割減になる見込みであるというようなお話をいただいたところでございます。これは既に校長先生方に話しておりまして、来年度の職員体制については、加配が半分減ったらどうするか、あるいは1人減ったらどうするかということで対策を既に講じているところでございます。

情報交換の中では、先程話しました「(仮称)日本ウェルネス宮城高等学校」についての情報があったところでございます。

続きまして、第1回女川町いじめ問題対策連絡協議会が10月9日に開催されましたが、「別添資料」では、10～16ページまで載せております。この一部資料につきましては、教育委員の皆様方にも既に配付させていただいた資料がございます。いじめのアンケート調査結果等でございます。これらも含めて話し合いを行ったところでございます。

特に喫緊の課題あるいは問題となるような点は、東部児童相談所、石巻警察署等からも指摘はございませんでした。これまでの取り組みをしっかりと継続してまいりたいと思っております。校長・教頭会議が今週の金曜日に予定されております。

7ページに入らせていただきます。

生涯学習課関係は、この1カ月、本当に生涯学習課の職員はいろいろ大変でございました。

そこにもありますように、文化財講演会が10月20日に行われました。久しぶりの講演会でございます。ご講演をいただいたのは、元石巻市教育委員会教育長の阿部和夫先生、元石巻高校の三宅宗義先生のお二人の大変すばらしいご講演を頂戴したところでございます。

なお、阿部和夫先生のご講演内容等については、石巻かほく等で連載された内容、それからそこに載っていないようなお話も頂戴しました。阿部和夫先生のお話はこれからも石巻かほくでまた掲載されるようでございます。約70名近く集まっていただきました。すばらしい講演会でございます。

そして、翌日に町民ミニ運動会ということで、これは絶好の運動会日よりのもと、楽しいひと時を過ごすことができました。今年も女川小学校の児童が全員参加していただき、運動会を盛り上げていただきました。感謝申し上げます。ところでございます。

それから昨日は、県の生涯学習課の課長、社会教育専門監がま
いりまして、3年目となる水野先生の活動の様子などのご指導、
あるいはこちらからのいろいろな説明等を行わせていただいた
ところでございます。

ほか、ここに掲げているようないろいろな行事等がございま
した。

8ページに入らせていただきます。

「別添資料」の17ページをご覧になっていただきたいと思います。
す。

オープンいたしましてからの図書室の来館者数等を担当のと
ころでまとめたものを載せております。10月20日までございま
す。合計で来館者数が1,329人。一日平均にしますと66名の方に
来館いただいております。貸出冊数は2,197冊。一日平均110冊
貸出しているということで、私個人的には順調にスタートして
いるのかなと思っております。

来た人は、あの図書室、いいな、いいなとよく言われますし、
ロビーのところが何とも言えないというようなお話も頂戴いた
しました。それから一方で、子どものいろいろな本などがもっ
とあるといいねと言われましたし、あそこは最終的に何万冊入
れる予定ですかということで、生涯学習課長がいつも話してい
るように、8万冊入れる予定だと話したら、「8万冊あそ
こにあるかな」、「いやいや、その半分くらいしかないんです」
というような話をさせていただきましたが、大変図書室に興味
を持っていただきました。大変うれしかった時間帯でございま
した。

7番の「その他」でございます。ここにあるようなことがいろ
いろありました。

先程話しましたが、女川小学校の女川商売塾の報告会が10月8
日に行われました。これには町長にも足を運んでいただきまし
て、いろいろ講評をしていただきました。子どもたちは本当に
大変だったのですが、充実感に満ちた表情で、立派な報告会
でございました。

それから、株式会社クラシックの萱場社長の来町、寄附金の
贈呈など、支援関係のものがございました。さらには、10月22
日、今週の月曜日には渡辺復興大臣が視察されまして、慰霊碑
で献花をささげられたところでございます。

以下、ここに書かれているとおりでございます。

「おわりに」ということで、今日も資料を配付させていただ

教育総務課長

ておりますが、生涯学習センターこけら落としの第一弾がいよいよ今週の土曜日に開催されます。第三弾まで予定しておりますので、ぜひ教育委員の皆様方も足を運んでいただければと思います。

それから、先程お話をさせていただきました図書室（つながる図書館）のことです。

本当に秋も深まってまいりました。冒頭申し上げましたように、下半期に向けまして、これからもご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

私からの報告は、以上でございます。

次に、教育総務課長から報告させます。

それでは私から10月定例会の連絡事項ということで、資料に基づき説明をさせていただきたいと思います。

まず、日程関係でございます。

実施済みといたしまして、通学路における緊急合同点検を9月26日に開催してございます。皆様方には、資料を「対策箇所一覧表」ということで添付させていただいておりますので、後程ご覧になっていただきたいと思います。

その点検で、緊急に何かを必要とするようなところはなかったのですが、町でできるものについては、随時予算等を措置しながら対応してまいりたいというような形で、あとはこちらも定期的に学校、関係機関を含めまして点検をしていこうというような話し合いをさせていただいております。

次に、中学校の文化祭が10月20日ということで、委員の皆様方にはご出席をいただきまして、大変ありがとうございました。

次に、実施予定でございます。

まず、小学校の学芸会が10月27日（土）午前8時45分ということで、委員の皆様方の出席、よろしく願いいたします。

2番目といたしまして、町政功労者表彰式、11月3日（土）10時から、生涯学習センターのホール。今回、教育文化功労といたしまして教育委員の平塚征子委員、文化財保護委員の幸野久嗣さん、社会教育委員の阿部正浩さんの3名の方が教育文化功労ということで表彰を受けることとなります。

次に、3番目、議会の産業教育常任委員会が11月5日。資料では2時となっておりますが、調整がございまして、午後1時30分から。案件は「小中一貫校開校に向けた小中学生の通学方法について」ということで、2回目の会議をもつこととされております。

次に、大きな2番目、平成30年度下半期「教育委員及び教育長」学校訪問でございます。これは後程日程等調整していただきますが、例年、小学校が11月、中学校が1月にまた学校訪問をするという予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、大きな3番、事故報告といたしまして、女川小学校の教職員に係る交通事故でございます。幸い両者ともけがはないということで、先生も通常どおり出勤をされてございます。

次に、4番目のその他でございます。

今年度の文化の日の表彰、教育功労者の表彰は該当者がございませんでした。

次に、学校支援でございます。セガサミーホールディングス株式会社代表取締役社長、里見治紀様から、昨年度に引き続きまして、おながわ秋刀魚収穫祭において、出店したゲームコーナーの収益金を女川の子どもたちの教育環境やICT環境の充実を応援するという名目で寄附をいただいております。

次に、一般事項でございます。

まず、一つ目といたしまして、平成31年度「女川町奨学生」募集、1回目でございます。受付期間が平成30年11月1日から11月30日まで。なお、第2回目の募集を来年の2月頃に予定しております。

2ページ目に移っていただきまして、2番目といたしまして、心身障害児就学指導委員会を11月15日開催を予定しております。

次に、3番目といたしまして、株式会社クラシック「食育授業」の実施についてということで、11月27日に株式会社クラシック系列の店舗のシェフが女川に赴きまして、小学校の5年生を対象に、地場の食材を使ったコース料理と一緒に調理して試食をするという内容のものでございます。こちらは、昨年度寄付をいただいて、その際に食育授業ということで何かできないかというお話がございまして、今年度から実施することとなっております。

次に、4番目、学習塾代等支援事業の申請状況（9月30日現在）でございます。申請者が、高校生、中学生、小学生、未就学児を含めまして、216名。第1号の学習塾等が119名、第2号の習い事等が123名という形で申請がされてございます。

5番目に、女川町高等学校等通学費等補助事業の申請状況（9月30日現在）でございます。申請者が125名。その内訳といた

しまして、通学費が 121 名、下宿代が 4 名ということで、上期の対象決定が 113 名、金額で 3,637,550 円。若干申請と実際の交付決定の人数に開きがございますが、実績報告書の提出がされていないということで、それ以降、10 月に入ってから数名からありましたので、ほぼ満額の申請があったのかなというような形で考えております。

私からは、以上でございます。

教育長
生涯学習課長

続きます、生涯学習課長から報告させます。

それでは私から、資料に基づきまして 10 月の実施事業と 11 月の実施予定事業を説明させていただきますが、その前に、教育長の先程のお話とも通じますが、10 月 1 日にオープンいたしました生涯学習センター及び図書室について若干報告をさせていただきますと思います。

教育長の報告にもございましたが、10 月 1 日からの正式なオープンというところの一日前、9 月 30 日に秋刀魚収穫祭で急きよ使用するという状況になりました。データ上は 10 月 1 日からのデータなので数には入っていないのですが、まず 9 月 30 日の開会式から、山口さんの歌とか、さんま DE サンバとか、三つぐらい入れ替わりがあったので、その観客数を数えますと、約 1,000 人ぐらいは 30 日に生涯学習センターを利用させていただいたのかなと私どもでは思っております。

生涯学習センターにつきましては、震災前ですと、昔のデータになりますが、約 5 万 7,000 人ぐらい平均しますと年間で使われております。これが新しい生涯学習センターになってどのような動きになるかというのが今後の注目でございますが、今のところは、庁舎の会議室スペースが足りない分、役場のいろいろな会議、打ち合わせ等に研修室が使われているというのが主な使用状況でございますが、今後、こけら落としの第一弾とか、そういうものがいろいろと入ってきますので、その辺の推移を見守りながら、できるだけ使い勝手のいいような運営をいろいろとしていきたいというふうに考えております。

また図書室については、先程教育長の「別添資料」の 17 ページにも数字的なものが載っておりますが、20 日までの中で貸出冊数が 110 冊平均、来館者数が 66 人平均となっておりますが、この中を気をつけて見ていただくと、終了時間が 17 時までというところがあります。これは土、日、祝日の部分ですが、土、日、祝日の部分だけ抽出いたしますと、来館者数で 66 人から 85 人まで伸びますし、貸出冊数でも 110 冊から 151 冊まで伸びると

いうところで、まだ3週間ぐらいのデータしかないのですが、やはり平日より土、日、祝日の利用が多いということが予想どおりなのかなというふうに今のところ分析しておりますし、まだ細かい分析までいっていないのですが、震災前の午後5時までの利用から3時間延ばして、午後8時までの利用にした影響も、今後、徐々に分析の内容に入れていければというふうに今指示をしているところでございます。その辺もデータが出た時に、また改めて次からの教育委員会で報告をさせていただきたいと考えてございます。

この人数等を見ますと、平成25年から29年までの5カ年平均でいきますと、貸出冊数は約1万4,700冊、それから貸出人数が3,150人ぐらいの平均になっています。これが、この3週間の人数で割合を出しますと、年間の平均の既に貸出冊数、人数とも15%ぐらいこの3週間でなっておりますので、1年間を予想しますと、初年度ということもあって、かなりこれまでの利用者数、貸出冊数よりも一旦伸びるのかなというように予測をしております。この辺も随時、定期的な報告という形で今後も皆さんに教育委員会の会議で報告をさせていただきたいと考えております。

それから追加資料で、第三弾までの分を配付させていただきました。口頭ではいろいろ、第二弾、第三弾の出演者等お知らせをしておりましたが、内容等が確定いたしましたので、今回このような形で、第一弾が10月27日、第二弾が11月25日ということで、第二弾、第三弾はともに入場料が有料になりますが、こけら落とし特別価格というような設定で、第二弾が1,000円、第三弾の森昌子さんが2,000円という格安での販売を考えております。この辺も、広く宣伝すればすぐ販売も完了するのでしょうけれども、400席しかない席でございますので、町民の方と町内に勤務する方限定という設定をさせていただきながら、そこで420席の席数が埋まるような考えで今後進めてまいりたいというふうに思っております。

10月の実施事業、11月の実施予定事業に移らせていただきますが、10月は、先程の教育長の報告とも重複してきます。20日に文化財講演会ということで、先程教育長の報告にもありましたが、70人ぐらい参加していただきまして、お二人の講師の先生から貴重なお話をいただいております。

21日の町民ミニ運動会につきましては、スタッフ数まで混ぜると630人の人数での開催となっております。これは去年、形を

変えて、オリンピックデー・フェスタという形でやらせていただきましたが、去年は 370 人でしたので、通常の子運動会方式に戻しますと 630 人まで参加者数が伸びておりますし、今年これまでと違ったのが、採点種目の一番最後の玉入れで、通常ですと 1 位が 6 点、2 位が 5 点というその点数だけの配分なのですが、今年が入った玉の数、一つ入れれば 1 点という加算の仕方をしましょうという事前のルール決定をしたところ、浦宿地区が想定外のすごい数で、ほかの 5 地区のチームは 20 個から 25 個ぐらいの玉数だったのですが、浦宿地区だけ飛び抜けて 51 個も入れて、結果、旭が丘地区を大逆転したと。それで盛り上がった人と文句を言う人と二通りいたという現状がありましたので、来年からの採点種目の在り方というか、採点の点数の配分の仕方とか、1 年かけていろいろ検討していかなければいけないのかなというふうに思いました。来年度以降そのような方向で検討をさせていただければというふうに思っております。

27 日には第一弾のこけら落としが開催されます。事前の 400 枚の無料チケットは全部配布済みでございますので、その中から当日どのくらい欠席されるのかというところが読めない部分で、一抹の不安を感じているところでございます。

それから 11 月に入りますと、大きい行事では、町民文化祭が 11 月 3 日から。通常の 4 日間ぐらいの開催期日を、今年は延ばしまして、11 日までの開催とさせていただいております。

それから、それに合わせまして 10 日、11 日の 2 日間、新しい図書室の図書まつりも開催されます。それと、ちょっと用が混むのですが、その日に町民トレッキング秋ということで、石投山に登る企画もございます。

その次の週、18 日（日）は、石巻地区の青年文化祭、体育館では宮城県内の年代別の柔道チャンピオン大会ということで、年間の柔道大会が 5、6 回開催されますが、このチャンピオン大会が一番観客数まで含めると多い人数の方が体育館にいらっしゃるというようなことでございます。今年も予定では、山口香さんとかそういう方が来て柔道の指導をやるという予定も入っております。

23 日（金）には、栃木県塩谷町と年間の交流をしているわけですが、塩谷町からジュニア・リーダーが来まして、こちらで交流会をするということになっています。塩谷町との交流については、これまで一方的に女川町から行ってお世話になっている状況でございましたが、このような生涯学習センターも新しく

なつてというこゝでございませうので、基本的な方針とすれば、来年度は、女川町に塩谷町から来てもらつて交流をするというよゆうな内容で、今、両町で話を進めているところでございませう。それから、25日は第二弾のこけら落としがございませう。

あと10月と11月の最終水曜日、これは条例規則どおり図書室の休館日というこゝで、月に1回、毎月最終水曜日という設定のもとで、最終水曜日のところに図書室の休館日と入れさせていただいておひませう。

以上、報告とさせていだけませう。よろしくおひ願いいたしませう。

教育長
阿部委員

ただ今の報告事項について、ご質問ご意見等ございませうか。まずは、秋刀魚収獲祭実行委員長として、関係者の皆様に、開庁前という段階でありながら、ホールを使わせていだけませうしたこゝに、改めまして御礼を申し上げさせていだけませうたいと思ひませう。本当にありがとうございませうした。

教育長

お疲れさまでした。
委員の皆様方、何かございませうか。

(発言なし)

教育長

なければ、協議会もありますので、ありませうたらそちらの場でおひ願い申し上げます。
それでは、報告事項は終わらせていだけませう。

12 その他

教育長

次に、「6 その他」に入ひませう。
教育総務課長、おひ願いしませう。

教育総務課長

その他というこゝで、資料はございませう。また石巻警察署から、今回は女子高校生に対する声かけ事案というこゝで連絡がございませうした。

10月15日付けで石巻警察署から、10月12日(金)午前6時30分頃、東松島市矢本字下浦地区の施設敷地内におきまして、男が登校途中の女子高校生の肩や腕に触れ「どっか遊びに行かないか。学校は何時に終わるの」と声をかける事案が発生してございませう。

なお、男性の特徴といたしまして、年齢が70~80歳、身長が160~170cm、痩せ型、白髪交じりの短髪、上下黒色ジャージという報告がされてございませう。

そのほか石巻管内では、9月20日から10月4日までに、女子小学生に対する痴漢案件や成人女性に対する痴漢、付きまとい、スマートフォンによる撮影など、5件の事案が報告されておひませう。

なお、石巻警察署からは、その都度2市1町の教育委員会に対し、各学校へ被害に遭ったり事件を目撃した際はすぐに110番通報をするよう周知方について依頼がされ、本町におきましても、直ちに小・中学校に情報提供をするとともに、注意喚起等について指示をしております。

以上でございます。

教育長 毎回のように課長から報告しておりますが、なかなか後を絶たないというか、そういう状況でございます。幸いにも本町ではまだそういうことは報告されておりませんが、気をつけてまいりたいと思っております。

「その他」は、以上でございます。

それでは、来月の日程を決めさせていただきたいと思っております。

〔11月27日（火）9時ということで調整〕

教育長 27日火曜日ということで組ませていただきます。

以上で、第10回女川町教育委員会会議を終了させていただきます。

13 閉 会 午前10時45分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。

教育総務課 参事 伊藤富士子

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成30年11月27日

会議録署名委員

2番委員

4番委員